



先端医療開発特区 フォーラム

スーパー特区

日時

平成25年**6月20日** 日 木
13:00~16:15 (受付12:00~)

場所

三田共用会議所 講堂
東京都港区三田2-1-8

定員

270名

参加費

無料 (事前申し込みが必要です)

主催

内閣府

共催

文部科学省、厚生労働省、経済産業省

参加登録

<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0027.html>へ
アクセスしていただき、必要事項をご記入のうえ参加登録をおこなってください。
※定員に達した場合、早期に締め切る場合があります。

お問い合わせ先

内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付
ライフイノベーショングループ 担当: 渡辺、吉田
Tel: 03-5253-2111(内線 44628、44630)、Fax: 03-3581-9969



●東京メトロ南北線「麻布十番駅」下車 徒歩5分 (2番出口)
●都営地下鉄 大江戸線「麻布十番駅」下車 徒歩9分(2番出口)
※駐車場はございませんので、お車でのご来場は
ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

先端医療開発特区(スーパー特区) フォーラムの開催について

先端医療開発特区は、最先端の再生医療、医薬品・医療機器の開発・実用化を促進する研究課題を内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が協力して平成20年度より推進してきた事業です。(平成24年度終了)

先端医療開発特区の特徴として、行政区域単位の特区ではなく、テーマ重視の特区(複数拠点の研究者ネットワークで結んだ複合体が行うプロジェクト)が挙げられ、革新的技術の開発を阻害している要因を克服するため、資金の統合的かつ効率的な運用や、開発段階からの規制を担当する機関等と意見交換や相談等を行いながら進められてきました。

本フォーラムでは、先端医療開発特区の5年間の取組を通じて得られた成果やその波及効果を紹介するとともに、スーパー特区が果たした先端医療開発への貢献と今後の展望について議論します。

スーパー特区フォーラムプログラム

1 開会挨拶 山本 一太 (内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当))

2 スーパー特区の成果及び波及効果について

平野 俊夫 (総合科学技術会議議員)

3 各プロジェクトの成果報告

座長 山本 順二

(内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付参事官(ライフイノベーション担当))

1 中枢神経の再生医療のための先端医療開発プロジェクト

— 脊髄損傷を中心に —

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学研究科委員長・教授)

2 生体融合を可能とする人工関節の患者別受注生産モデルの構築

中島 義雄 (ナカシマメディカル株式会社 代表取締役社長)

3 先端的循環器系治療機器の開発と臨床応用、製品化に関する横断的・統合的研究

妙中 義之 ((独)国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長)

4 細胞シートによる再生医療実現プロジェクト

岡野 光夫 (東京女子医科大学先端生命医科学研究所副学長・教授、所長)

5 パネルセッション

テーマ

「スーパー特区が果たした先端医療開発への貢献と今後の展望について」

コーディネーター

平野 俊夫 (総合科学技術会議議員)

庄田 隆 (第一三共株式会社 代表取締役会長)

パネリスト

中島 義雄 (ナカシマメディカル株式会社 代表取締役社長)

妙中 義之 ((独)国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長)

岡野 光夫 (東京女子医科大学先端生命医科学研究所副学長・教授、所長)

吉田 易範 ((独)医薬品医療機器総合機構 審査マネジメント部 部長)

4 閉会挨拶 山岸 秀之 (内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当))